



平成 29 年 9 月 11 日

英語教育のための part17 フォニックス指導ワークショップ

現代社会において、英語はいまや必要不可欠なものになっています。特に小学校における英語教育については今、大きな話題となっています。今回はこの間大変好評を得、5年目、第17回目の開催となります。今回は「フォニックス指導」のワークショップ part17 を開催します。

講習では、これまで使用の教材とは異なる教材を使用し、初めての方にも、また、すでに参加された方にもより深く学べる内容になっていますので、多数ご参加ください。

日 時：平成 29 年 10 月 22 日(日)
午前 10 時～12 時
定 員：30 名
受 講 料：3,000 円 (教材費含)
場 所：大阪市教育会館 (アネックスパル法円坂)
(大阪市中央区法円坂 1-1-35)



フォニックス学習の指導

フォニックス学習の第一ステップはアルファベット文字の正しい発音と形を確実に覚える事である。
次に文字名を完全に覚えた後、その文字の表す音、すなわち Phonics Alphabet 「フォニックス アルファベット」を指導する事が大切である。
1 つの文字にいくつもの音があるものがあるが、とりあえず次のような音を小文字で使って指導する。

アルファベットの a b c と読む字は「エイム」「ビー」「シー」と言う名前と音がある他に、フォニックス読みと音の読み方が異なるフォニックス読みは「ア」、b は「ブ」、c は「ク」 d は「ドク」 e は「エ」 g は「グ」と言う風に読む。以下その発音の仕方を発音記号を用いて列挙する。

a (), b (b), c(k) (s), d(d), e(e), f(f), g(ɡ) ()
h(h), i(i), j (), k(k), l(l), m(m), n(n),
o (), p(p), q(k), r(r), s(s), t(t), u () (u),
v(v), w (w), x(x), y (), z(z)

k (ク) と言えば c、k、q s (ス) と言えば c、s

例 b o x n i g b a g
フオクス フィグ フエグ

こうして個々の音を見てから単語の発音をすれば発音がよくなる。単語も音を開けば書けるようになる。

【講習会で利用する教材の一部。初めてのフォニックスを学びます】

申込締切：平成 29 年 10 月 13 日(金)まで
講 師：大阪ユネスコ協会 プロジェクト・アドバイザー 秦 清子
京都橘大学 児童英語学科元講師 金山 敬
主催：一般財団法人大阪市教員会館
後援：大阪市教育委員会 大阪ユネスコ協会

内 容

- ★ フォニックスとは何か？
- ★ 生徒が楽しく学べるフォニックスの指導法を学ぶ
- ★ フォニックスを学ぶとこない事がある (発音・ヒアリングが良くなる・単語が暗記しなくても読み書き出来るようになる)
- ★ フォニックスを使ったゲーム等

対 象 者

1. フォニックスについて学びたい方
2. フォニックスの指導法を学びたい小学校教職員
3. 子供に英語を指導したいと思っている方

Phonetic Method (フォニックス教授法)

- イギリス人の言語学者 Henry Sweet (1845～1912) が提唱
1. 教師の発音を模倣するだけでは発音がうまくならない事に着目
 2. 外国語の指導に音声学の科学的手法を取り入れた英語の綴りを覚える前に音表文字を主張。字と音との関係を学ぶ

申込方法 下記宛先まで FAX・郵送・Eメール等にてお申込下さい。予約が成立した方には、振込口座番号・振込期限を記載した予約確認書を送付します。複数のお申込の場合は申込書に代表者名を明記して下さい。予約確認書は1グループ1枚の発行となります。

※前日、当日のキャンセルに関しましては、参加費はお返しできませんのでご了承ください。

フォニックス指導ワークショップ (10月22日) 申込書

平成 29 年 月 日

氏 名	送付先住所 教職員の方は所属(区名)への送付も可	携帯電話

計 名 代表者氏名

※携帯電話をお持ちでない場合は自宅の電話番号を必ずご記入下さい。